

横浜市立大学附属病院 臨床研修医の CPC レポート作成マニュアル

(たすきがけ研修で外病院にいる先生は、自身の病院の方針に従って下さい)

2016/6/1 改定

[1] 附属病院 CPC 実施要項

1. 全体 CPC (臨床講堂；年3回、6月/10月/2月の木曜午後6時～)
<研修医全員の出席必須。但し他施設研修（救急、地域医療）の場合は除く>
2. ミニ CPC 《病理解剖総検査》 (病理症例検討室；毎週不定期金曜午後6時頃～)
<指名研修医のみ。各人年1回担当。臨床研修センターより前月末に対象者へ通達>

[2] CPC レポートの症例選定順位

1. 担当患者が病理解剖された症例
 - ① 家族の承諾後1～3日後に施行される病理解剖に立ち会う
 - ② 解剖1～2週後の金曜午前9時頃に実施される病理一次検査（肉眼臓器カンファレンス）に出席する
 - ③ 病理一次検査の結果を含めたレポートを作成する

注) 附属病院の配属期間内にミニ CPC (組織学的所見を含めた症例の最終カンファレンス) が実施される場合は、ミニ CPC へ参加し組織学的所見も含めたレポートを作成する
2. ミニ CPC 症例 (病理解剖となった担当患者がいない場合)
 - ① 臨床研修センターより通知されたミニ CPC 症例を事前学習する
 - ② ミニ CPC に出席し、討議や質問等に積極的に参加する
 - ③ 不明な点などを担当病理医／担当診療科医に質問し、考察事項を明確にする
3. 全体 CPC 症例 (病理解剖担当患者がおらず、かつ、正当な理由によりミニ CPC 参加が叶わない場合)
 - ① 全3回出席した症例のうち、もっとも興味を覚えた症例を選定する
 - ② 担当病理医と担当診療科医へ連絡をとり、症例に関する見識を深め考察事項を明確にする

[3] レポートの書き方

- ・ 担当病理医から提供される以下の資料を参考にレポートをまとめる
 - 呈示した症例の病理解剖診断報告書
 - 呈示に使用したスライドの抜粋（power point 形式）
<必要あれば担当診療科医へ連絡をとり診療科側が呈示したスライドのコピーも>
- ・ レポートの様式：Word 形式のテンプレートを準備しているが、他の書式でも可
必要な記載事項：臨床経過／臨床上の問題点／病理解剖所見（肉眼/組織写真を含む）
病理診断／臨床経過と病理所見の対応に関する考察<最重要>
- ・ 作成法の概略は担当病理医が教示するが、研修医自らが考え、まとめる事
- ・ 患者の氏名や ID など個人情報が識別できる情報は削除する

[4] レポートの提出

- ・ レポートは原則として印刷物として提出する
(提出時期と外病院研修が重なった場合は Windows で読み込み可能なパソコン用メディアで提出可)
- ・ 他人のレポートをコピペーストした模倣跡が認められた際は研修終了認定が叶わない可能性あり
- ・ 評価が基準に達しないと判断された場合は、再提出を求める事がある

- ・ 提出場所 : 病理部（附属病院3階）
- ・ 提出時間 : 平日8時45分から17時15分まで
- ・ 提出期限 : 担当／参加 CPC 終了後1ヶ月以内。難しい場合は病理部に問い合わせる事

[5] その他

- ・ 本マニュアルは病理部と臨床研修センターが共同して運用する

問い合わせ先 病理部 : 山中 (6267)
臨床研修センター : 西巻 (6114)
藤田 (5357)